

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【公開番号】特開 2005-280213 (P2005-280213A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-040
 【出願番号】特願 2004-100497 (P2004-100497)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被記録媒体にインクを吐出して記録を行うインクジェット記録ヘッドによって記録の行われた第 1 面に対して反対側の第 2 面が前記インクジェット記録ヘッドと対向する様に、前記第 1 面を内側にして被記録媒体を湾曲反転させる湾曲反転経路と、

前記第 1 面に記録の行われた被記録媒体が、前記第 1 面記録時における後端を先端にして、前記湾曲反転経路を経由して前記インクジェット記録ヘッドの上流側へ到達する様に被記録媒体を搬送する搬送手段と、

前記搬送手段を駆動制御することにより、前記第 2 面記録時の被記録媒体先端が、前記第 1 面記録終了時から、前記インクジェット記録ヘッドの上流側に設けられるとともに被記録媒体をニップし且つ回転することにより被記録媒体を下流側へ搬送する第 1 ローラ対に到達するまでの時間 T_w を制御する搬送時間制御手段と、を備え、

前記搬送時間制御手段が、前記第 1 面記録時の被記録媒体後端から長さ L_1 の領域におけるインク吐出量、又は記録デューティ、又は記録データに応じて、前記時間 T_w を設定する、

ことを特徴とする被記録媒体案内装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、前記長さ L_1 が、前記第 1 ローラ対から、前記インクジェット記録ヘッドの下流側に配置され、記録の行われた被記録媒体をニップし且つ回転することにより被記録媒体を下流側へ搬送する第 2 ローラ対までの経路長 L_2 以上である、

ことを特徴とする被記録媒体案内装置。

【請求項 3】

請求項 2 において、前記長さ L_1 が、前記第 1 ローラ対の上流側に設けられて被記録媒体の通過を検出する被記録媒体通過検出手段から前記第 2 ローラ対までの経路長 L_3 である、

ことを特徴とする被記録媒体案内装置。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか 1 項において、前記時間 T_w が、更に被記録媒体の種類に応じて設定される、

ことを特徴とする被記録媒体案内装置。

【請求項 5】

被記録媒体の両面に記録を実行可能に構成された記録装置であって、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載された前記被記録媒体案内装置を備えている、ことを特徴とする記録装置。

【請求項 6】

被噴射媒体に液体噴射を行う液体噴射ヘッドと、

前記液体噴射ヘッドによって液体噴射の行われた第 1 面に対して反対側の第 2 面が前記液体噴射ヘッドと対向する様に、被噴射媒体を湾曲反転させる湾曲反転経路と、

前記第 1 面に液体噴射の行われた被噴射媒体が、前記第 1 面液体噴射時における後端を先端にして、前記湾曲反転経路を経由して前記液体噴射ヘッドの上流側へ到達する様に被噴射媒体を搬送する搬送手段と、

前記搬送手段を駆動制御することにより、前記第 2 面液体噴射時の被噴射媒体先端が、前記第 1 面液体噴射終了時から、前記液体噴射ヘッドの上流側に設けられるとともに被噴射媒体をニップし且つ回転することにより被噴射媒体を下流側へ搬送する第 1 ローラ対に到達するまでの時間 T_w を制御する搬送時間制御手段と、を備え、

前記搬送時間制御手段が、前記第 1 面液体噴射時の被噴射媒体後端から長さ L_1 の領域における液体吐出量、又は液体噴射密度、又は液体噴射データに応じて、前記時間 T_w を設定する、

ことを特徴とする液体噴射装置。